

九州脱炭素化研究会 with Q-PIT 入会のご案内





九州大学 副学長 佐々木 一成

会長あいさつ

日本の2050カーボンニュートラル（2020年10月に宣言）実現に向けて、「グリーン成長戦略（2020年12月）」、「エネルギー基本戦略（2021年10月）」、「GX実現に向けた基本方針（2023年2月）」等がそれぞれ閣議決定され、さらに2024年5月には水素社会推進法が成立しました。「GXに向けた取組の成否が、企業・国家の競争力に直結する時代」とされ、さらにロシアのウクライナ侵攻を受け、エネルギー供給・価格が不安定になるなど、エネルギーの安定確保と脱炭素化は極めて大きな社会的課題となっています。

このような中、エネルギー分野で先駆的研究開発を行い高いポテンシャルを有する九州大学では、全学組織である「エネルギー研究教育機構」に200名を超える多様なエネルギー関連分野の研究者が参画しております。その研究・教育の成果を基に、総合知で脱炭素関連の産学連携を進める「九州脱炭素化研究会」を2023年4月に発足いたしました。

エネルギー分野における成長戦略をお持ちの企業様はもとより二酸化炭素排出量削減・カーボンニュートラルに取り組む企業の皆さまとともに、エネルギーの未来を切り拓くべく、イノベーションによる課題解決と人材育成、ひいては社会変革をグリーントランスフォーメーション分野で実現していきたいと考えています。

目的

九州大学エネルギー研究教育機構（Q-PIT）での研究成果を基にカーボンニュートラル化・脱炭素化に関連する学術的、技術的課題について、自由な討論の場を提供することにより再生可能エネルギーが豊富な九州地域を中心に研究開発とその社会実装性の向上に寄与する。

- ・産学交流
- ・異業種交流
- ・学生-企業の交流

主な事業内容

1. 学問の分野・業界を越えた知の普及・開示・交流を行い、新たなビジネス創成を図る場の運営
2. カーボンニュートラル化・脱炭素化に関する研究及び情報の収集
3. 九州大学の脱炭素化研究に取り組む博士課程学生との交流及び研究支援
4. その他本研究会の目的を達成するために必要な活動の提案及び実施

研究集会（ワークショップ等）を2か月に1回開催予定、特にご興味を持たれた特定課題は、深掘りに向けた個別の共同研究に移行可

年会費

（4月1日～翌年3月31日）

法人会員（種別A）20万円
法人会員（種別B）* 100万円

*特典

法人会員（種別B）は、脱炭素関連の博士課程学生の研究に対する企業名を冠する賞を授与することができ、学生との交流が期待できる。

研究会の体制



九州大学エネルギー研究教育機構協力教員 研究分野と分布

分野	人数 (重複有)	分野	人数 (重複有)	分野	人数 (重複有)
1 洋上風力・太陽光・地熱	62	6 半導体・情報通信	25	11 カーボンリサイクル・マテリアル	78
2 水素・燃料アンモニア	90	7 船舶	15	12 住宅・建築物・次世代電力マネジメント	49
3 次世代熱エネルギー	74	8 物流・人流・土木インフラ	13	13 資源循環関連	55
4 原子力	24	9 食料・農林水産業	31	14 ライフスタイル関連	43
5 自動車・蓄電池	55	10 航空機	12	15 その他	40

参考 1

グリーン成長戦略 2050年に向けて成長が期待される、14の重点分野を選定

- ・高い目標を掲げ、技術のフェーズに応じて、実行計画を着実に実施し、国際競争力を強化
- ・2050年の経済効果は約290兆円、雇用効果は約1,800万人と試算

<p>洋上風力・太陽光・地熱</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2040年、3,000～4,500万kWの案件形成【洋上風力】 ●2030年、次世代型で14円/kWhを視野【太陽光】 <p>1</p>	<p>水素・燃料アンモニア</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2050年、2,000万トン程度の導入【水素】 ●東南アジアの5,000億円市場【燃料アンモニア】 <p>2</p>	<p>次世代熱エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2050年、既存インフラに合成メタンを90%注入 <p>3</p>	<p>原子力</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2030年、高温ガス炉のカーボンフリー水素製造技術の確立 <p>4</p>	<p>自動車・蓄電池</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2035年、乗用車の新車販売で電動車100% <p>5</p>
<p>半導体・情報通信</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2040年、半導体・情報通信産業のカーボンニュートラル化 <p>6</p>	<p>船舶</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2028年よりも前倒しでゼロエミッション船の商業運航実現 <p>7</p>	<p>物流・人流・土木インフラ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2050年、カーボンニュートラルポートによる港湾や建設施工等における脱炭素化を実現 <p>8</p>	<p>食料・農林水産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2050年、農林水産業における化石燃料起源のCO₂ゼロエミッション化を実現 <p>9</p>	<p>航空機</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2030年以降、電池などのコア技術を、段階的に技術搭載 <p>10</p>
<p>カーボンリサイクル・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2050年、人工光合成プラを既製品並み【CR】 ●ゼロカーボンスチールを実現【マテリアル】 <p>11</p>	<p>住宅・建築物・次世代電力マネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2030年、新築住宅・建築物の平均でZEH・ZEB【住宅・建築物】 <p>12</p>	<p>資源循環関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2030年、バイオマスプラスチックを約200万トン導入 <p>13</p>	<p>ライフスタイル関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2050年、カーボンニュートラル、かつレジリエントで快適な暮らし <p>14</p>	

九州大学エネルギー研究教育機構協力教員 研究分野一覧

2024年5月1日現在 敬称略 五十音順

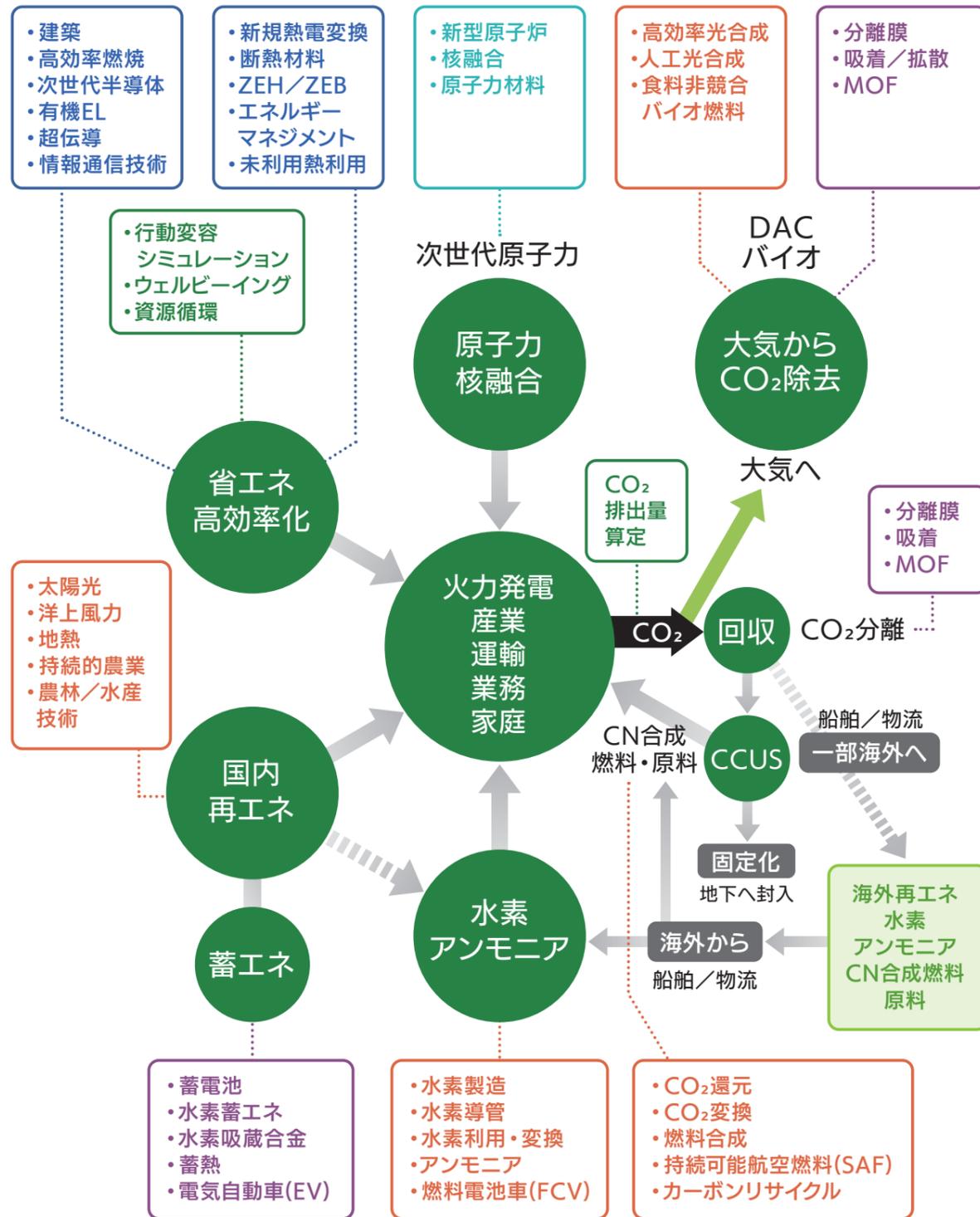
1			2			3			4	5		6	7
洋上風力・太陽光・地熱			水素・燃料アンモニア			次世代熱エネルギー			原子力	自動車・蓄電池		半導体・情報通信	船舶
CHAPMAN ANDREW JOHN	清水 宗治	堀井 伸浩	安藤 詩音	西郷 浩人	林 克郎	安達 千波矢	佐々木 陽一	松田 潤子	有馬 立身	アルブレヒト 建	田 中学	安達 千波矢	伊藤 衡平
飯久保 智	Shang Juan	松島 敏則	CHAPMAN ANDREW JOHN	酒井 健	兵頭 潤次	有馬 立身	SAHA BIDYUT BARAN	松本 光央	出水 薫	安藤 詩音	中島 裕典	アルブレヒト 建	加河 茂美
飯嶋 秀治	朱 洪忠	松永 久生	石原 達己	迫田 直也	藤ヶ谷 剛彦	安藤 詩音	朱 洪忠	馬奈木 俊介	井上 智博	CHAPMAN ANDREW JOHN	永田 晃也	井上 弘士	北原 辰巳
池田 達紀	住吉 大輔	松本 光央	伊藤 衡平	笹岡 孝司	北條 元	飯嶋 秀治	高橋 幸奈	宮崎 康次	今坂 智子	飯久保 智	西原 正通	恩田 健	朱 洪忠
井上 智博	高橋 幸奈	馬奈木 俊介	伊藤 正人	佐々木 一成	堀井 伸浩	石原 達己	武田 秀太郎	宮田 潔志	梅原 裕太郎	石原 達己	濱田 繁	加地 範匡	高取 千佳
王 振英 (WANG Zhenying)	田上 大助	宮崎 康次	猪石 篤	高越 恒	前田 修孝	井戸 毅	田代 幸寛	宮地 英敏	大賀 哲	伊藤 衡平	濱本 芳徳	加藤 幸一郎	田中 將己
内田 孝紀	立川 雄也	宮田 潔志	井上 元	島田 英樹	松江 要	猪石 篤	多田 朋史	村上 恭和	加地 範匡	伊藤 正人	林 灯	金谷 晴一	中島 裕典
EDALATI KAVEH	田中 俊昭	宮地 英敏	井上 智博	Shang Juan	松崎 良雄	王 振英 (WANG Zhenying)	千歳 洋平	文 贊鎬	片山 一成	猪石 篤	林 克郎	寒川 義裕	濱田 繁
大瀧 倫卓	田中 宏昌	八木 和行	江川 浩輔	菅井 裕一	松田 潤子	梅原 裕太郎	KYAW THU	森 昌司	田上 大助	井上 元	原田 裕一	木村 崇	胡 長洪
小川 知弘	田中 將己	楊井 伸浩	江崎 文裕	STAYKOV ALEKSANDAR	松永 久生	江崎 文裕	津田 伸一	安田 和弘	武田 秀太郎	EDALATI KAVEH	藤ヶ谷 剛彦	草場 彰	松永 久生
小澤 弘宜	谷口 智之	山形 幸彦	EDALATI KAVEH	住吉 大輔	松本 広重	大賀 哲	寺西 亮	山内 幸正	徳永 和俊	大瀧 倫卓	洪 銅基	KWATI LEONARD	馬奈木 俊介
恩田 健	KYAW THU	山崎 仁丈	エルジャマル オサマ	高桑 脩	馬奈木 俊介	大瀧 倫卓	徳永 和俊	山口 創一	中石 知晃	加河 茂美	松田 潤子	小島 立	八木 和行
郭 章林	長尾 匡憲	山田 泰広	大野 光一郎	高橋 幸奈	村上 恭和	大宅 諒	富安 亮子	山崎 仁丈	橋爪 健一	加藤 幸一郎	松永 久生	佐道 泰造	山口 創一
菅 浩伸	中野谷 一	吉田 敬介	大宅 諒	田上 大助	本山 宗主	Ekenechukwu Chijioke Okafor	中野谷 一	山田 和正	花田 和明	北川 敏明	馬奈木 俊介	Shang Juan	吉田 敬介
キーリー アレクサンダー 竜太	濱田 繁	吉田 謙太郎	Ekenechukwu Chijioke Okafor	武田 秀太郎	安武 昌浩	小澤 弘宜	西原 正通	山田 泰広	藤本 望	北原 辰巳	宮崎 康次	STAYKOV ALEKSANDAR	渡辺 勢也
君塚 信夫	林 灯	吉田 茂雄	小江 誠司	多田 朋史	矢部 光保	恩田 健	花田 和明	伊 基石	松浦 秀明	NGUYEN DINH HOA	宮脇 仁	多田 朋史	
NGUYEN DINH HOA	原田 裕一	米津 幸太郎	小澤 弘宜	立川 雄也	山内 幸正	郭 章林	原田 裕一	吉田 敬介	馬奈木 俊介	KWATI LEONARD	村上 恭和	千歳 洋平	
GAO YUAN	兵頭 潤次	李 秦宜	恩田 健	田中 宏昌	山内美穂	岸田 昌浩	東 之弘	吉田 謙太郎	光原 昌寿	小島 立	本山 宗主	富安 亮子	
酒井 健	FARZANEH HOOMAN	劉 盈溢	郭 章林	田中 將己	山崎 仁丈	北川 敏明	兵頭 潤次	米津 幸太郎	森 昌司	西郷 浩人	八木 和行	原田 裕一	
佐道 泰造	胡 長洪	渡辺 勢也	片山 一成	田 中学	山田 泰広	君塚 信夫	弘中 秀至	李 秦宜	守田 幸路	柴部 比夏里	山内 美穂	宮崎 康次	
三納 正美	藤光 康宏		加藤 幸一郎	津田 伸一	山本 剛	木村 崇	藤ヶ谷 剛彦	渡邊 聡	安田 和弘	佐々木 一成	山崎 仁丈	村上 恭和	
			キーリー アレクサンダー 竜太	橋 俊太郎	伊 基石	栗田 健一	星野 友	渡邊 隆行	吉田 敬介	住吉 大輔	伊 聖昊	山崎 仁丈	
			岸田 昌浩	富安 亮子	伊 聖昊	西郷 浩人	松浦 秀明	渡邊 英雄	劉 維	高桑 脩	吉田 敬介	山田 和正	
			北川 敏明	中島 裕典	吉田 敬介	迫田 直也	松江 要	渡邊 源規	渡邊 英雄	田上 大助	吉田 謙太郎	李 秦宜	
			北原 辰巳	西原 正通	李 秦宜	佐々木 一成	松崎 良雄			多田 朋史	李 秦宜	渡邊 隆行	
			NGUYEN DINH HOA	橋爪 健一	Linh Thi Hoai Nguyen					田中 敬二	渡邊 賢		
			久保田 祐信	濱田 繁	渡邊 賢					田中 宏昌	渡邊 隆行		
			KWATI LEONARD	濱中 晃弘	渡邊 聡					田中 將己			
			河野 正道	濱本 芳徳	渡邊 隆行								
			小島 立	林 灯	渡邊 源規								

8	9	10	11			12		13		14		その他 エネルギー関連	
物流・人流・土木インフラ	食料・農林水産業	航空機	カーボンリサイクル・マテリアル			住宅・建築物・次世代電力マネジメント		資源循環関連		ライフスタイル関連		その他 エネルギー関連	
飯嶋 秀治	有澤 美枝子	安藤 詩音	Adroit T.N. Fajar	西郷 浩人	林 信哉	有馬 雄祐	立川 雄也	Adroit T.N. Fajar	末光 弘和	荒川 豊	清野 聡子	Adroit T.N. Fajar	徳永 信
池谷 直樹	飯嶋 秀治	井上 智博	飯嶋 秀治	酒井 健	早刈 百合子	飯嶋 秀治	崔 連希	有澤 美枝子	清野 聡子	有澤 美枝子	田村 良一	荒川 豊	南部 恭広
神野 達夫	IBRAHIM MOHAMED ABDELHAK MAAMOUN	今坂 智子	池田 達紀	佐々木 一成	原田 明	王 振英 (WANG Zhenying)	趙 世展	CHAPMAN ANDREW JOHN	高取 千佳	有馬 雄祐	千歳 洋平	出水 薫	嶋川 利彦
キーリー アレクサンダー 竜太	今坂 智子	加河 茂美	IBRAHIM MOHAMED ABDELHAK MAAMOUN	佐道 泰造	原田 裕一	岡本 剛	鶴崎 直樹	飯嶋 秀治	高橋 幸奈	CHAPMAN ANDREW JOHN	中石 知晃	井上 弘士	濱本 芳徳
黒瀬 武史	大野 光一郎	小島 立	王 振英 (WANG Zhenying)	高越 恒	兵頭 潤次	尾崎 明仁	寺本 振透	IBRAHIM MOHAMED ABDELHAK MAAMOUN	武田 秀太郎	飯嶋 秀治	永田 晃也	井上 智博	林 潤一郎
小島 立	岡安 崇史	田中 將己	永長 久寛	清水 邦義	北條 元	神野 達夫	萩島 理	永長 久寛	田代 幸寛	池谷 直樹	萩島 理	エルジャマル オサマ	原田 明
佐川 康貴	加地 範匡	中島 裕典	江川 浩輔	SAHA BIDYUT BARAN	星野 友	NGUYEN DINH HOA	濱本 芳徳	江崎 文裕	田中 直樹	浦川 邦夫	早刈 百合子	大賀 哲	福本 康秀
清野 聡子	工藤 真二	馬奈木 俊介	江崎 文裕	末光 弘和	前田 修孝	黒瀬 武史	原田 裕一	エルジャマル オサマ	橋 俊太郎	大嶋 孝志	羽山 康之	小江 誠司	Divigalpitaya Prasanna
寺西 亮	栗田 健一	八木 和行	EDALATI KAVEH	菅井 裕一	松本 崇弘	GAO YUAN	FARZANEH HOOMAN	逢坂 直樹	寺本 振透	岡本 剛	原田 明	神野 達夫	堀井 伸浩
Divigalpitaya Prasanna	古賀 信也	山本 直嗣	エルジャマル オサマ	STAYKOV ALEKSANDAR	馬奈木 俊介	古賀 信也	藤川 茂紀	大賀 哲	中石 知晃	尾崎 明仁	東 之弘	木島 孝之	前田 享史
洪 銅基	佐藤 利昭	吉田 敬介	逢坂 直樹	SELYANCHYN ROMAN	光原 昌寿	古賀 靖子	堀 賀貴	大島 一真	濱中 晃弘	加河 茂美	FARZANEH HOOMAN	Kim Schumacher	松崎 良雄
馬奈木 俊介	清水 邦義	渡邊 聡	大賀 哲	高橋 幸奈	宮崎 隆彦	小島 立	洪 銅基	大野 光一郎	林 信哉	加地 範匡	藤井 秀道	NGUYEN DINH HOA	箕浦 永子
鷺崎 俊太郎	SAHA BIDYUT BARAN		大島 一真	田代 幸寛	宮田 潔志	小山 智幸	松尾 真太郎	沖部 奈緒子	早刈 百合子	北澤 満	前田 享史	栗田 健一	宮地 英敏
	清野 聡子		大嶋 孝志	多田 朋史	宮脇 仁	佐藤 利昭	馬奈木 俊介	加河 茂美	羽山 康之	栗田 健一	馬奈木 俊介	小島 立	文 贊鎬
	Ta Viet Ton		大瀧 倫卓	田中 直樹	村上 恭和	志賀 勉	箕浦 永子	梶原 稔尚	原田 明	古賀 信也	丸山 明子	小林 俊哉	矢崎 亮
	田代 幸寛		大野 光一郎	田 中学	矢崎 亮	重藤 迪子	宮崎 康次	工藤 真二	藤井 秀道	小林 俊哉	箕浦 永子	酒井 健	山形 幸彦
	谷口 智之		岡安 崇史	KYAW THU	安田 和弘	清水 邦義	宮崎 隆彦	栗田 健一	藤川 茂紀	近藤 加代子	宮地 英敏	高越 恒	横田 文彦
	橋 俊太郎		小川 知弘	橋 俊太郎	矢部 光保	SAHA BIDYUT BARAN	山形 幸彦	古賀 信也	Divigalpitaya Prasanna	清水 宗治	矢部 光保	清水 周次	吉田 敬介
	徳永 信		小野 利和	徳永 信	山内 幸正	志波 文彦	山口 謙太郎	小島 立	星野 友	志波 文彦	YOO Sung-Jun	Ta Viet Ton	吉田 謙太郎
	中石 知晃		恩田 健	富崎 真衣	山内美穂	末廣 香織	YOO Sung-Jun	小山 智幸	松本 崇弘	末廣 香織	吉田 敬介	寺西 亮	脇 隼人
	濱本 芳徳		梶原 稔尚	富安 亮子	山崎 仁丈	末光 弘和	吉田 敬介	近藤 加代子	馬奈木 俊介	末光 弘和	吉田 謙太郎		
	林 信哉		岸田 昌浩	中島 裕典	山本 剛	住吉 大輔	李 秦宜	佐川 康貴	丸山 明子	住吉 大輔			
	原田 裕一		工藤 真二	中野谷 一	伊 基石	Ta Viet Ton	Linh Thi Hoai Nguyen	笹岡 孝司	矢部 光保				
	星野 友		國信 洋一郎	名嘉山 祥也	伊 聖昊	高取 千佳	鷺崎 俊太郎	佐藤 利昭	山内 美穂				
	松崎 良雄		河野 正道	西原 正通	Linh Thi Hoai Nguyen	高橋 幸奈		高越 恒	山口 謙太郎				
	馬奈木 俊介		小林 浩和	花井 泰三	渡邊 隆行			島田 英樹	吉田 敬介				
	丸山 明子							清水 邦義	米津 幸太郎				
	宮地 英敏							末廣 香織					
	安武 大輔												
	矢部 光保												
	吉田 謙太郎												

研究テーマなど詳細は、Q-PITのホームページ「カーボンニュートラルの重点分野別のエネルギー研究教育機構の教員紹介」をご覧ください。



脱炭素関連の九州大学研究シーズ項目例



九州大学 K²-SPRING グリーンイノベーションユニット研究一覧

学府専攻	博士後期課程 入学年月日	学年	研究題目 https://q-pit.kyushu-u.ac.jp/fellow-ship/
人間環境学府空間システム専攻	2022年4月	3年	人間の省エネ意識と省エネ行動の関係分析に基づく建物エネルギーシミュレーションツールの開発
総合理工学府総合理工学専攻	2022年4月	3年	電子・Li イオン混合伝導性ペロブスカイト型酸化物の探索
	2022年4月	3年	水素化物負極における固体電解質自己生成メカニズムの解明
	2022年4月	3年	Toward Safer, Smarter and Decarbonized Mobility: Energy-Aware Personalized Autonomous Driving Motion Control and Learning-Based Human-Machine Interactive Platform for Driving Behavior Analysis
	2022年4月	3年	高効率な反応を可能にするマイクロ波援用DRMシステムの開発と反応メカニズムの解明
	2022年10月	3年	アニオン伝導膜形燃料電池の材料探索における化学的解釈可能な機械学習の開発
工学府応用化学専攻	2022年10月	3年	沸騰と水電解のアナロジーに基づく水電解性能の飛躍的な向上
統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻	2022年10月	3年	High-pressure and high-entropy ceramics as new family of photocatalysts for hydrogen production and CO ₂ conversion: Ab initio calculations and experiments
	2022年10月	3年	Multiscale Data-Driven Engineering of Porous Carbon Materials for Clean Energy Applications
人間環境学府空間システム専攻	2023年4月	2年	Diagnosis of energy-saving performance of building and healthy indoor office environment based on BI-Tech technology
経済学府経済システム専攻	2023年4月	2年	日本の建築部門由来のCO ₂ 排出の動態と移転
工学府応用化学専攻	2023年4月	2年	マルチカーボンの生成を目指した電気化学 CO ₂ 還元触媒の検討
工学府地球資源システム工学専攻	2023年4月	2年	地熱発電の社会受容性に関する数理社会的分析と制度設計
総合理工学府総合理工学専攻	2023年4月	2年	核融合炉用トリチウム生産実現に向けた、高温ガス炉におけるトリチウム閉じ込め技術の開発
	2023年4月	2年	座礁資源で炭素循環社会を創る
工学府機械工学専攻	2023年10月	2年	高温水素利用機器の安全性を確実にするための水素中クリープ寿命低下の機構解明に関する研究
統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻	2023年10月	2年	モデルカソードとしてのナノ粒子修飾酸化物における酸素還元サイトの解明
工学府水素エネルギーシステム専攻	2023年10月	2年	MH合金システムの速度律速因子の探求と設計指針の構築
人間環境学府九州大学・釜山大学校都市・建築学国際連携専攻	2024年4月	1年	Dx技術を活用した建築熱環境のデジタルツインに関する研究
人間環境科学府都市共生デザイン専攻	2024年4月	1年	The impact mechanism of multi-scale urban built environment on health and well-being of residents
経済学府経済システム専攻	2024年4月	1年	国際海運活動を組み込んだ新たなグローバルサプライチェーン分析の開発とその実証分析
	2024年4月	1年	Environmental-economic trade-offs of membrane-based direct air capture technologies using life cycle assessment
理学府化学専攻	2024年4月	1年	大環状配位子を有する金属錯体による高効率なNH ₃ 酸化反応
工学府応用化学専攻	2024年4月	1年	太陽光有効活用に向けた円偏光特性を有する三次元キラルプラスモニックメタクラスターの開発
工学府水素エネルギーシステム専攻	2024年4月	1年	固体高分子形燃料電池の化学的耐久性に関する研究
総合理工学府総合理工学専攻	2024年4月	1年	流体機械の創出におけるトポロジー最適化手法の核融合炉における活用
	2024年4月	1年	核融合原型炉材料F82H中における析出物非晶質化現象の解明
統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻	2024年4月	1年	The Impact of Digital Transformation in Japan's Electric Vehicle (EV) Industry on Carbon Emission Reduction
生物資源環境科学府環境農学専攻	2024年4月	1年	九州における将来の造林適地予測と持続可能な森林管理

入会申し込み方法

入会希望の方は、<https://q-decs.kyushu-u.net/membership/>かQRコードから申し込み、
または以下の入会申込書に必要事項を記入し、問い合わせ先宛に送信してください。



九州脱炭素化研究会 入会申込書

記載日 令和 年 月 日

九州脱炭素化研究会規約を遵守する旨をここに誓約し、法人会員に申し込みます。

貴社名				
住所	〒 ー			
代表者(役職名・氏名)				
連絡窓口	部署名			
	役職名			
	担当者名			
	住所	〒 ー		
	電話番号			
	E-MAIL			
法人会員種別 ※該当に○をつけてください	A (会費20万円)		B (会費100万円)	
関心のある分野 ※該当に○をつけてください	洋上風力・ 太陽光・地熱	水素・ 燃料アンモニア	次世代 熱エネルギー	原子力
	自動車・蓄電池	半導体・情報通信	船舶	物流・人流・ 土木インフラ
	食料・農林水産業	航空機	カーボンリサイクル ・マテリアル	住宅・建築物・ 次世代電力マネジメント
	資源循環関連	ライフスタイル関連		
備考 (脱炭素に係る貴社の 取り組みや技術ニーズ等)				

お問い合わせ先

九州大学エネルギー研究教育機構 (Q-PIT)
TEL: 092-802-6673
E-mail: matsuzaki.yoshio.813@m.kyushu-u.ac.jp

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構 (OPACK)
TEL: 092-805-3677 FAX: 092-805-3678
E-mail: datsutanso@opack.jp
datsutanso@kenkyukai2023.onmicrosoft.com
〒819-0367 福岡市西区西都1-1-27 MJR九州大学研都市駅前1F

